

第2回 安城市文化振興計画策定審議会

日 時 令和7年9月19日（金）
午前10時30分から正午まで
場 所 歴史博物館 講座室

1 市民憲章唱和

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）文化芸術を取り巻く社会潮流について【再協議】

（2）アクションプログラムに対する事業進捗について

（3）市民ニーズ等の調査結果について

（4）課題と施策について

（5）その他

4 その他

安 城 市 民 憲 章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- * たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましよう。
- * きまりを守り、良い習慣を育てましよう。
- * 自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましよう。
- * 教養を高め、若い力を育てましよう。
- * 健康で、明るく楽しい家庭をつくりましよう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

安城市文化振興計画策定審議会委員名簿

任期 令和7年5月1日から令和8年3月31日まで

	選任理由	委 員	備 考
1	学識経験者	もり やすみち 森 泰通 豊田市美術・博物館文化財課足助分室 室長代理	考古学・博物館学 学識経験者
2	学識経験者	しながわ かよ 品川 佳代 西尾市文化会館 副館長・芸術監督	芸術振興 学識経験者
3	地元有識者	かわさき 川崎 みどり 安城市文化財保護委員	地元有識者
4	地元有識者	たかやま ただし 高山 忠士 安城市博物館協議会委員	地元有識者
5	地元有識者	まるやま けさみつ 丸山 今朝三 安城市民ギャラリー運営委員会委員	地元有識者
6	市民団体代表	のぐち よしえ 野口 良恵 安城ふるさとガイドボランティア	市民団体代表
7	市民団体代表	はない れいこ 花井 玲子 安城音楽協会 理事長	市民団体代表
8	市民団体代表	こやま ようこ 小山 要子 安城文化協会 相談役	市民団体代表
9	公募委員	すずき しゅんや 鈴木 駿弥 桜井町下谷棒の手保存会代表	市民公募
10	公募委員	あいはら なごみ 藍原 和 静岡文化芸術大学学生	市民公募

事務局

氏 名	所 属
いしかわ よしかず 石川 良一	安城市教育委員会 教育長
かとう ひろあき 加藤 浩明	安城市教育委員会生涯学習部 部長
あさおか かずひで 朝岡 一秀	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 課長
にしき み かずひこ 錦 見 和彦	安城市歴史博物館 館長
ひらい ゆりか 平井 友理香	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 課長補佐兼芸術文化係長
のがみ まゆみ 野上 真由美	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 学芸係長
にしじま ようすけ 西島 庸介	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 文化財係長
ごとう まりえ 後藤 麻里絵	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 学芸係主査
たにむら なつみ 谷村 捺美	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 芸術文化係主査
すずき ひろつぐ 鈴木 博皓	安城市教育委員会生涯学習部文化振興課 文化財係主事

(1)文化芸術を取り巻く社会潮流

1



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

◆社会的動向への対応課題(冊子P.26)

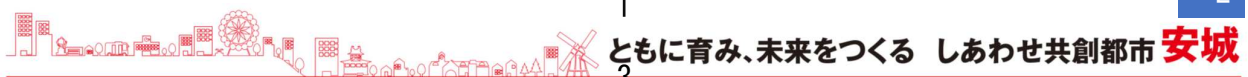
見直し前

- 地域の歴史や伝統文化を通じた新旧市民の交流促進、新住民や若い世代にとっての、地縁とは異なる新たなコミュニティとなる「共通の関心事を持つ人々の集まり」への着目(人口問題・コミュニティの絆)
- 伝統文化の担い手の減少に対応した、参加者の増加、担い手確保、学校教育の場における文化芸術教育の機会確保(少子高齢化)
- 少子、超高齢社会における、子育て世代や、高齢者の心身ともに健康な長寿生活をおくるための、文化芸術面における支援、豊かな生活環境づくり(少子高齢化・福祉医療)
- 文化芸術施設や文化財の防災性確保(安心・安全)
- 外国人や障害者など、多様な人々が共生できる社会づくり(多文化共生・社会包摂)
- 最新のコンピュータ技術と、リアルな「生身の人間が接する文化」のよさの共存(ICTと人間)
- 地域の資源を活かし、地域の人々の手によるコミュニティの活性化(地域創生)

見直し後(事務局案)

- 地域の歴史や伝統文化を通じて多様な人々が交流することや「共通の関心事を持つ人々」によるコミュニティづくりへの着目(コミュニティの絆)
- 伝統文化をはじめとした文化芸術の担い手の減少に対応した、参加者の増加、担い手確保、学校教育の場における文化芸術教育の機会確保(多世代参画・持続可能性)
- 少子、超高齢社会における、子育て世代や、高齢者の心身ともに健康な長寿生活をおくるための、文化芸術面における支援、豊かな生活環境づくり(ウェルビーイング)
- 文化芸術施設や文化財の防災性確保(大規模自然災害発生のリスク)
- 外国人や障害のある方など、多様な人々が文化芸術に触れることができる社会づくり(多文化共生・社会包摂)
- 先進技術導入による超スマート社会の到来を見据えた、文化芸術における効果的・効率的なデジタル技術の活用(AI等の有効的な活用)
- 地域の人々を主体とし、地域の資源を活かした文化芸術における取組の支援(地域活性化)

2



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

3

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(2)アクションプログラムに対する 事業進捗について

3



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(2)アクションプログラムに対する事業進捗

短期～概ね5年以内に行うべき目標～

■文化芸術活動が活性化するための人づくり（ヒューマン施策）

- (1) 会の運営能力（アートマネジメント）を向上させます
- (2) 他分野・他団体と交流を進めます
- (3) 発表場所・活動場所などを拡大します
- (4) アウトリーチ（出張活動など）を推進します

■誰でも文化・芸術活動に参加し、継続していけるための仕組みづくり（ソフト施策）

- (1) 会の運営能力（アートマネジメント）の向上させる仕組みをつくります
- (2) 情報発信・受信のあり方を整備します
- (4) 発表機会（イベント）や活動場所が確保できるように誘導します
- (7) 学校と地域の協働による活動機会を確保します
- (8) 他分野・他団体との交流・協力を進めます
- (9) 文化芸術に触れる機会を増加・拡大を検討します
- (12) 感染症と共存した文化芸術のあり方を示します

■文化・芸術活動を長期的に支える環境づくり（ハード施策）

- (1) 発表場所・活動場所を確保します
- (8) 文化芸術活動における感染症対策を行います

4



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(2)アクションプログラムに対する事業進捗

ヒューマン施策 文化芸術活動が活性化するための人づくり	評価
(1)会の運営能力（アートマネジメント）を向上させます	A
(2)他分野・他団体と交流を進めます	B
(3)発表場所・活動場所などを拡大します	B
(4)アウトリーチ（出張活動など）を推進します	B

※A：計画を上回る進捗である
B：概ね計画どおりの進捗である
C：計画よりも遅れた進捗である

5

(2)アクションプログラムに対する事業進捗

ソフト施策 誰でも文化・芸術活動に参加し、継続していけるための 仕組みづくり	評価
(1)会の運営能力（アートマネジメント）を向上させる仕組みをつくります	B
(2)情報発信・受信のあり方を整備します	B
(4)発表機会（イベント）や活動場所が確保できるように誘導します	B
(7)学校と地域の協働による活動機会を確保します	B
(8)他分野・他団体との交流・協力を進めます	B
(9)文化芸術に触れる機会を増加・拡大を検討します	B
(12)感染症と共存した文化芸術のあり方を示します	B

※A：計画を上回る進捗である
B：概ね計画どおりの進捗である
C：計画よりも遅れた進捗である

6

(2)アクションプログラムに対する事業進捗

ハード施策 文化・芸術活動を長期的に支える環境づくり	評価
(1)発表場所・活動場所を確保します	B
(8)文化芸術活動における感染症対策を行います	B

※A：計画を上回る進捗である
B：概ね計画どおりの進捗である
C：計画よりも遅れた進捗である

7



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(3)市民ニーズ等の調査結果について

8



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

6

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(3)市民ニーズ等の調査結果について

①市民向けeモニターアンケート

結果は同じ傾向

◆ 文化芸術活動への参加状況や参加意識

《令和2年調査》

実施期間 1月17日～24日

回答数 1,118人

- ・ 歴史を知る、文化芸術に親しむことの重要性を多くの市民が認識している(90%)
- ・ 団体活動に参加したことのない人は76%を占める(個人で活動したい20%含む)
理由① 参加してみたいが時間的な余裕がない(30%)
理由② 自分の興味ある分野の団体を知らない(15%)

《令和7年調査》

実施期間 8月1日～8日

回答数 904人

- ・ 歴史を知る、文化芸術に親しむことの重要性を多くの市民が認識している(94%)
- ・ 団体活動に参加したことのない人は76%を占める(個人で活動したい19%含む)
理由① 参加してみたいが時間的な余裕がない(39%)
理由② 自分の興味ある分野の団体を知らない(22%)

9



Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(3)市民ニーズ等の調査結果について

①市民向けeモニターアンケート

結果は同じ傾向

◆ 市内の歴史・文化芸術施設の評価

《令和2年調査》

実施期間 1月17日～24日

回答数 1,118人

- ・ デンパークとアンフォーレの人气が高く(50%超)、歴史博物館・文化センター・丈山苑(22～24%)、市民ギャラリー・市民会館は低迷している。
- ・ 施設に関して、講座やイベントの内容(38%)よりも、立地や公共交通の利便性(56%)、駐車場(61%)等「行きやすさ」に重きが置かれている。

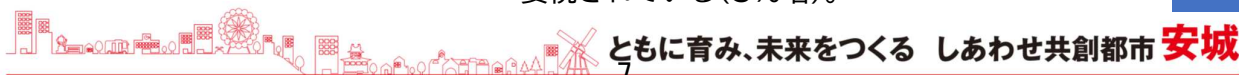
《令和7年調査》

実施期間 8月1日～8日

回答数 904人

- ・ デンパークとアンフォーレの人气が依然高い(50%超) **歴史博物館・丈山苑・市民ギャラリー・市民会館・文化センターなど、他施設の人气も徐々に上がっている(1～6%増)。**
- ・ 施設に関して、立地、公共交通の利便性(64%)、駐車場(61%)等「行きやすさ」に依然として重きが置かれているが、講座やイベントの内容(44%)への価値も高まっている。また、鑑賞、受講、入場する時の料金も重要視されている(3%増)。

10

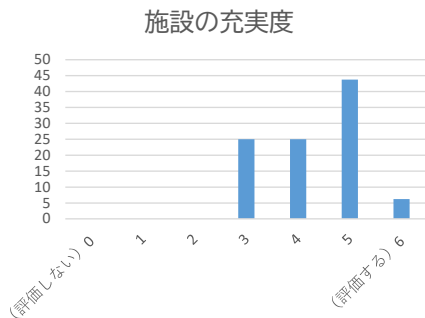


Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

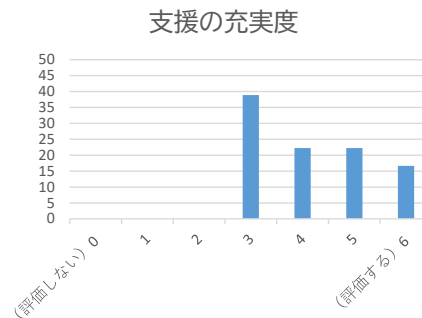
(3)市民ニーズ等の調査結果について

②市民団体、事業者等書面ヒアリング

◆ 安城市の文化芸術施策について



- 市民会館、文化会館、アンフォーレや公民館など、利用しやすい工夫あり
- 各公民館での活動は、心豊かに人は元気を貰う場所
- 音出しができる練習やリハーサル会場が少ない
- 施設が分散しているのがネック
- 大きな施設はあるがもう少し中規模、小規模な施設があって利用し易い(申し込み等)ことを望む



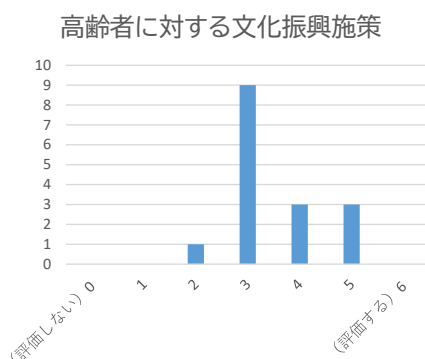
- アートマネジメント講座で次世代の育成をしようとする試みがよい
- 全国大会激励金制度を活用させていただいている
- お金の面だけでなく色々なアドバイス等頂けるとありがたい

11

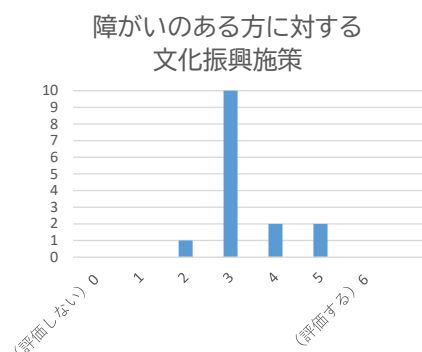
(3)市民ニーズ等の調査結果について

②市民団体、事業者等書面ヒアリング

◆ 安城市の文化芸術施策について



- 各施設において、高齢者が楽しめる催しが企画されている
- 公民館や市民ギャラリーの講座は受講料の負担が少なくいい機会
- 高齢者を型にはめがちで、古い内容で継続している印象がある
- 各地域に福祉センターができ、学びの機会が多い



- 市民会館の公演会は市指導のもと、手話・要約筆記対応が行われ、障がいのある方も健常者と一緒に楽しめるイベントがある
- バリアフリーなどの施設の充実を望む

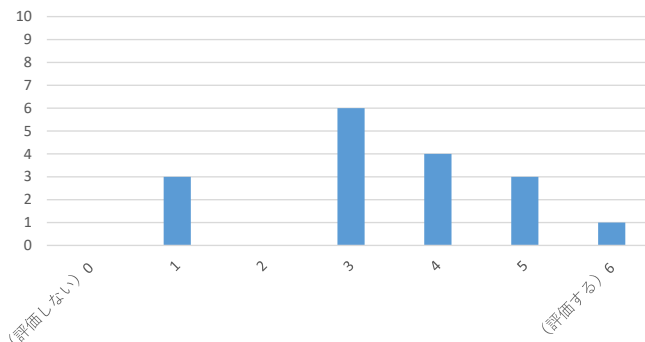
12

(3)市民ニーズ等の調査結果について

②市民団体、事業者等書面ヒアリング

◆ 安城市の文化芸術施策について

子どもに対する文化振興施策



- ・ 各施設において、子供向けの催しが企画されており、評価できる
- ・ 行政から子どもへ活動していることへの評価をしてもらえるとモチベーションアップに繋がると思う
- ・ 市民ギャラリーで子ども向けにやっている絵画や陶芸講座は、指導を受けたり制作体験をするいい機会になっている
- ・ 部活動の地域展開の仕組みが整っていない。吹奏楽やオーケストラは、楽器と音を出せる場所が不可欠である

13

(3)市民ニーズ等の調査結果について

②市民団体、事業者等書面ヒアリング 自由記述概要

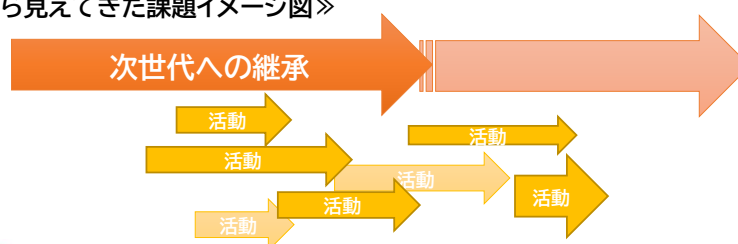
◆ 子ども・次世代への継承

- ・ 次世代への興味の持たせ方、導き方に課題あり。(小中学校での経験の有無が差を生む)
- ・ 生徒の授業後の過ごし方、興味関心の多様化から、全員そろって活動することが難しくなっている。

◆ 活動機会と交流

- ・ 一人ひとりの目的意識を明瞭にしながらモチベーションを上げる何かしらの工夫が必要。
- ・ 発表の機会があっても参加できる人の確保が難しくなっている。
- ・ 安城市のプロの方との交流を続けながら、生涯学習として楽しむ、見て楽しむ市民が増えるよう、行政がいかに関わっていただけるか期待している。

《ヒアリングから見てきた課題イメージ図》



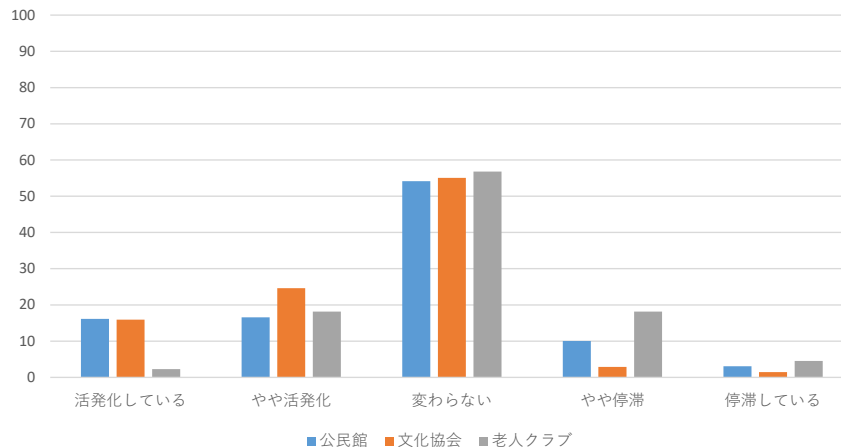
14

(3)市民ニーズ等の調査結果について

③市内公共施設で活動する自主団体アンケート

回答数 公民館:230 文化協会:70 老人クラブ:44 実施期間:8月

◆自主団体の計画策定後5年間の活動傾向



15



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城

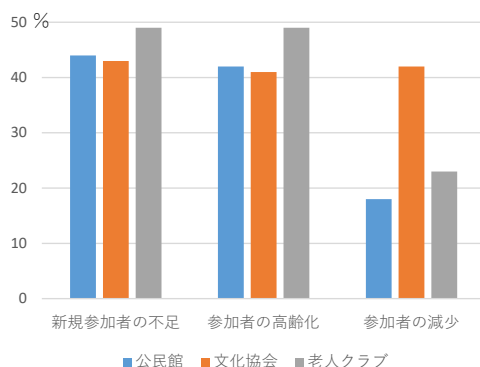
Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(3)市民ニーズ等の調査結果について

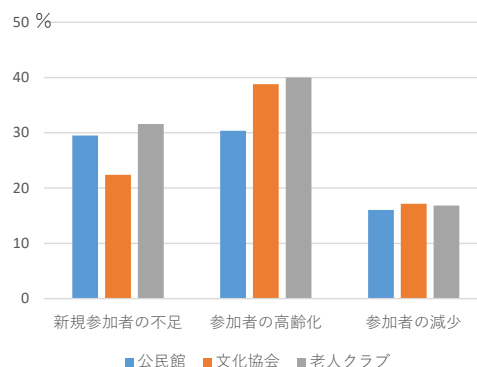
③市内公共施設で活動する自主団体アンケート

◆自主団体の課題上位3つ

令和2年調査



令和7年調査



16



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城

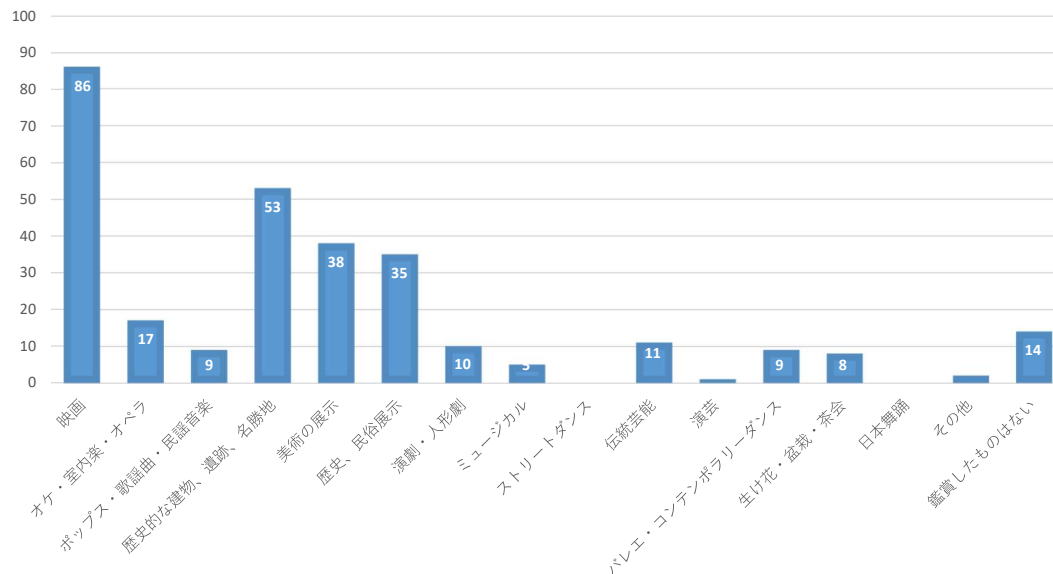
10

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

(3)市民ニーズ等の調査結果について

④子どもへのアンケート(121件、平均9.5歳)

1年間で参加した文化芸術鑑賞

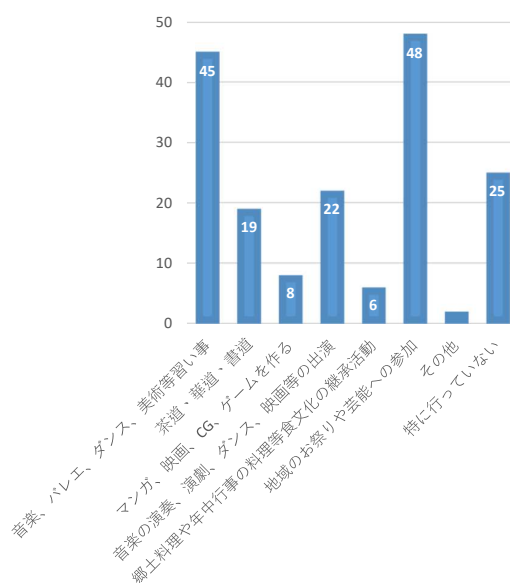


17

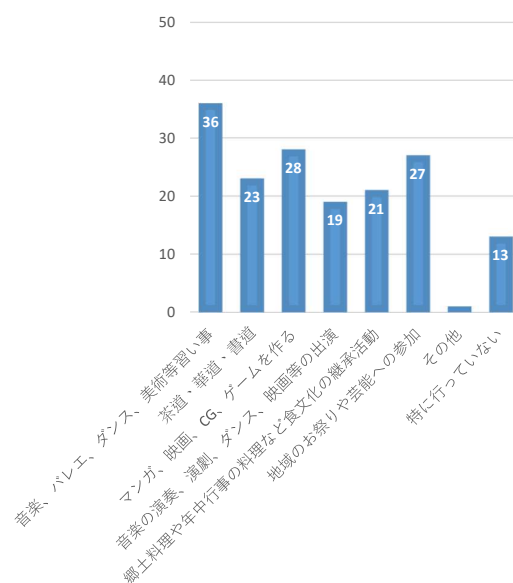
(3)市民ニーズ等の調査結果について

④子どもへのアンケート(121件、平均9.5歳)

過去1年間で参加した文化芸術体験



今後参加してみたい文化芸術体験

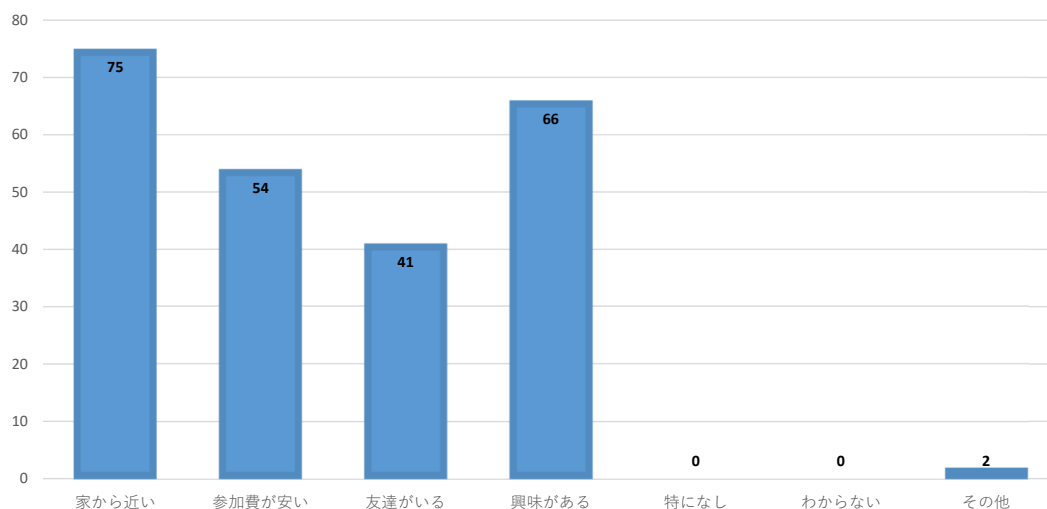


18

(3)市民ニーズ等の調査結果について

④子どもへのアンケート(121件、平均9.5歳)

文化芸術活動に参加するには何が大切か



19

◆成果指標 (冊子P. 48)

文化芸術グループへの新規加入者数

基準値	中間目標	最終年	
2019年度 令和元年度	2025年度 令和7年度	2030年度 令和12年度	2024年度 令和6年
0人	20人	30人	36人

【重点施策1】

文化芸術グループの他団体との交流回数

基準値	中間目標	最終年	
2019年度 令和元年度	2025年度 令和7年度	2030年度 令和12年度	2024年度 令和6年
0回	20回	20回	51回

【重点施策1】

新たな活動場所を得ることのできた文化芸術グループ数

基準値	中間目標	最終年	
2019年度 令和元年度	2025年度 令和7年度	2030年度 令和12年度	2024年度 令和6年
0回	5件	8件	6件

【重点施策2】

20

(4)課題と施策について

21



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

◆課題(冊子P.39)

《現状・市民意向から見た課題》

- 1 参加型の文化芸術活動へ
- 2 「行ってみたい」と思える歴史・文化芸術施設の魅力向上
- 3 文化協会などの既存団体への参加者減少への対応
- 4 伝統芸能・有形文化財の次世代への継承・教育現場における文化芸術の取組み
- 5 文化芸術に触れる機会増加
- 6 だれでも文化芸術を享受できること
- 7 **職業**芸術家の活躍機会確保と地元住民との交流拡大
- 8 施設の運用や活用のマネジメントの向上

《本市の地域特性から見た課題》

- 11 中心市街地に集中する拠点文化芸術施設のネットワーク
- 12 市内各所に分散立地する芸術施設のアクセス改善
- 13 「日本デンマーク」時代の遺産の活用をはじめ、歴史的資産の有効活用

《文化芸術を取巻く社会潮流から見た課題》

9 我が国をめぐる社会的動向への対応課題

- 9-1 **多様な人々の交流やコミュニティづくりへの着目**
- 9-2 **伝統文化をはじめとした文化芸術の担い手確保・学校教育における機会確保**
- 9-3 **少子・超高齢社会における豊かな生活環境づくり**
- 9-4 文化芸術施設、文化財の防災性確保
- 9-5 多様な人々が文化芸術活動に触れることができる社会づくり
- 9-6 効果的・効率的なデジタル技術の活用
- 9-7 地域の資源を活かした文化芸術における取組の支援

10 ウイズ・コロナ/ポスト・コロナでの文化芸術活動における課題

- 10-1 感染防止対策
- 10-2 社会にとっての文化芸術の重要性の認識
- 10-3 人とのつながり、対面活動の重要性の認識
- 10-4 リモートによる新たな表現や情報発信

22



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

13

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

1 文化芸術活動が活性化するための人づくり(ヒューマン施策)

- (1) 会の運営能力(アートマネジメント)の向上
- (2) 他分野・他団体との交流
- (3) 発表場所・活動場所などの拡大
- (4) アウトリーチ(出張活動など)の推進

2 誰でも文化・芸術活動に参加し、継続していけるための仕組みづくり(ソフト施策)

- (1) 会の運営能力(アートマネジメント)を向上させる仕組みづくり
- (2) 情報発信・受信のあり方の整備
- (3) 鑑賞後、感動を次につなげる工夫
- (4) 発表機会(イベント)や活動場所確保のための誘導
- (5) 専門家(学芸員)からの指導
- (6) 長期的視野に立った文化芸術振興専門家の育成の調査研究
- (7) 学校と地域の協働による活動機会の確保
- (8) **多分野・多団体との交流・協力促進**
- (9) 文化芸術に触れる機会の増加・拡大の検討
- (10) 文化芸術分野の調査研究の進展
- (11) 効果的な事業運営のあり方の調査研究
- ~~(12) 感染症と共存した文化芸術のあり方の提示~~

3 文化・芸術活動を長期的に支える環境づくり(ハード施策)

- (1) 発表場所・練習場所の確保
- (2) 乗り合わせなどによる移動手段の確保
- (3) 市民協働による歴史博物館のリニューアルの調査研究
- (4) 未来の文化芸術活動を担保する十分な収蔵施設の調査研究
- (5) 史跡整備による歴史まちづくりの実施
- (6) 市民協働による歴史的建造物などの保存・活用・整備の調査研究
- (7) 長期的に市民に支持される施設のあり方の調査研究
- (8) 文化芸術活動における感染症対策の実施**

